

暮らしのたより

6月 - 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

市民プールがオープンします
☎ 温水プール 36-2131

と き 6月15日～9月15日 9:00～18:00
休場日 毎週木曜日(ただし7月21日～8月31日は無休)
料 金 大人 200円
高校生 100円
小・中学生 50円
※幼児は無料(保護者の付き添いが必要です)
問い合わせ 市民プール ☎63-4542

エアロビクス・シルバー健康体操教室
☎ 勤労者体育センター 35-0672

と き ①エアロビクス教室 7月10日～9月18日 毎週金曜日 19:00～20:30 計10回
②エアロビクス教室 7月15日～9月16日 毎週水曜日 10:00～11:30 計10回
③シルバー健康体操教室 7月15日～9月16日 毎週水曜日 ①9:30～10:30 ②10:40～11:40 計10回
ところ ①温水プール研修室 ②市立富士体育館 ③富士柔剣道場
定 員 ①30人 ②40人 ③①②各60人
受講料 ①②各3,000円 ③1,500円
対 象 ①②一般男女 ③60歳以上
申し込み 6月24日～7月1日に受講料を持参し、勤労者体育センター、市立富士体育館、富士文化センターへ

6月の献血 
☎ 社会課 内線 2312

日	場 所	時 間
18(木)	市役所西口	9:30～15:30
23(火)	富士市農協今泉支所	9:10～10:30
	丘公民館	11:15～12:30
	ユニー吉原店西口前	14:00～15:30
25(木)	スーパー吉川富士南店	9:30～11:30
	ひのや森島店	13:00～15:30
27(土)	J R 富士駅前	10:00～16:00

将棋・練功教室
☎ ラ・ホール富士 53-4300

●将棋教室
と き 7月5日～10月18日 毎週日曜日 9:00～11:00 計15回
ところ ラ・ホール富士 工芸実習室
定 員 20人
受講料 1ヵ月 2,000円 計8,000円

●練功教室(中国の医療保健体操)
と き 7月4日～10月31日 毎週土曜日 15:00～17:00 計15回
ところ ラ・ホール富士 軽体育室
定 員 30人
受講料 1ヵ月 1,500円 計6,000円
申し込み 両講座とも、6月6日(土)の9:00～17:00に、ラ・ホール富士で受け付けます
※希望者多数の場合は抽せんとなります

市立中央病院の臨時職員を募集
☎ 市立中央病院 52-1131

採用職種 薬剤師(臨時)
採用人員 若干人
応募資格 平成4年5月1日現在30歳未満の人
受付期間 6月13日(土)まで
必要書類 履歴書(中央病院庶務課で交付)、資格を証明する書類(写)
申し込み 必要書類を中央病院庶務課(内線2217)へ提出してください

ツベルクリン反応検査とBCG接種
☎ 保健婦人センター 64-8991

実施期間 6月23日(火)～7月8日(水)
予備日は7月20日(月)

対 象
・平成2年6月1日～平成3年5月31日までに生まれた幼児
・満4歳未満でまだ受けていない幼児
・ツベルクリン反応検査の結果、陰性であったがBCG接種を受けていない幼児
※ツベルクリン反応検査接種券やBCG接種の間診票のない人は母子健康手帳のほかに印鑑を持参してください(朝と昼食前の体温を測ってください)
☆日時、会場は健康カレンダーをごらんください

健康コーナー

コンタクトレンズ

目で物を見ると、見た物の形は目のレンズを通して目の後ろの壁(網膜)に姿をつくります。この姿は、目のレンズに異常がある近視や遠視などでは、ピントが合わないのぼケるのです。このぼケを矯正して視力をよくするために、メガネやコンタクトレンズといったレンズ類を使うのです。コンタクトレンズは、眼球の前面の角膜の所に密着させるように装置させて使います。やはり、これもメガネと同様に近視用

と遠視用とがありますが、メガネと違うのは、物が小さく見えたり、大きく見えたりするような不便なことがないことです。

ハードレンズ(硬目のもの)は多少異物感がありますが、取り扱いやすく視力矯正がかなりよくできます。そしてソフトレンズ(軟らか目のもの)は異物感が少なく、脱落することもなく、レンズと眼球のすき間に異物が入りこみにくい等の利点があり、スポーツに向いています。

このように、コンタクトレンズはかなり優秀な視力矯正用具ですが、目に傷や炎症等の病気があつたりすると使えないこともあります。またソフトレ

ンズの場合には異物感が少ないために、病気の発見がおくれがちになり、治療が手おくれになりかねないこともあります。コンタクトレンズの形をきめ、使い方をすることで眼科医の診断を受けるようにし、ハードでもソフトでも異常を感じたら診察を受けましょう。

〈富士市医師会〉

レーダー通信

野も山も生き生きとした明るい春になりました。冬場の運動不足解消のためにも、戸外に出て、ウォーキングしましょう。歩く動作は、健康にとって大切な基本です。